

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	鶴見高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 校是「文武両道」「自主自立」、校訓「探求 真善美」の具現化に向けて、学校の教育活動全体を通じて豊かな人間性・社会性を育み、社会に貢献できる人材の育成に取り組む。
- 確かな学力の育成に向けて、基礎的・基本的な知識・技能の定着とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 校是「文武両道」「自主自立」の精神に基づき、校訓「探求 真善美」を具現化して、質の高い授業の提供、特別活動・部活動の充実、体系的なキャリア教育を核とした教育活動を展開する。
- ◇指導と評価の一体化の視点を踏まえた授業改善を図り、主体的・対話的で深い学びを提供する。
- ◇生徒が目標を持ちその達成のための方策を主体的に考えて、自己有用感・達成感を獲得するよう、特別活動・部活動を活性化し、生徒が主役の学校づくりを行う。
- ◇生徒個々のウェルビーイングを高め、3年間を見通した体系的なキャリア教育を行う。
- ◇地域・保護者・同窓会等との関わりを活用しキャリア意識の醸成や学習意欲の向上を図る。「Challenge and Change -学びを社会へ-」を合言葉に生徒、職員が一体となって取り組む。

3 計画策定時点での課題

- コロナ禍による体験活動の不足と、それに伴うコミュニケーション不足のため、集団生活に馴染めない者が増加しており、それらへの丁寧な支援の必要がある。またコミュニケーション能力の育成の手立てを模索し実践する必要がある。
- 学びを主体的に深めるための授業への転換を図ることで、ソサエティ5.0とA Iの時代の学校教育を見据えた教育を開発する必要がある。
- 指導と評価の一体化の視点から授業づくりを行い、思考力・判断力・表現力を育成して、主体的・対話的で深い学びをより高い次元で実現するための継続的な授業改善の必要がある。
- 社会の主体者としての自己有用感、責任感、達成感を得ることを目的として、特別活動や部活動について生徒が主体的に作り上げていく過程を高い次元で体験させる必要がある。
- 成績を推薦による進路決定のためのものとする生徒の意識の転換の必要がある。
- 保護者・同窓会と一体となった様々な取組みが見られるが、地域等の教育資源を活用した取組みの拡充の必要がある。
- 本校の魅力をより広く発信することに努めていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を着実に実施することで、主体的に学習に取り組む態度を育成し、探究力を育む。 ・指導と評価の一体化の視点を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を追求する。 ・ICTやAI等、新たな技術を採用入れ、新時代に対応できるDX人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問・課題に協働して取り組み思考する授業、学びを主体的に深めるための授業への転換を図る。 ・ルーブリック等のパフォーマンス評価を活用し、形成的評価を充実させた授業改善を図る。 ・新しい学習支援ツールの導入や、生成AI等のICTの利活用を追求する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・予防的な生活指導を実践し、ピア・サポートを浸透させる。 ・生徒一人ひとりの高い規範意識とコミュニケーション能力を育成する。 ・学校行事や部活動等を通じて、生徒の主体性・リーダーシップを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の意識改革を図り、組織的対応を充実させ、いじめを根絶する。 ・困難を抱える子どもを早期に発見し、必要に応じて外部関係機関につなげるなど組織的に支援する。 ・生徒主体の学校行事等を一層充実させ、円滑な人間関係を構築する体験を充実させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイングの視点から、確かな目標を設定し、粘り強く進路実現を図る力を育成する。 ・3年間の体系的なキャリア教育計画を作成し、進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用し、ポートフォリオの積み上げによって、確かなキャリア意識を形成する。 ・体験的な学びや面談等を通して、将来の自らの姿をイメージし、目標を高く持ってそこに向かって具体的に取り組むことができるよう組織的に支援する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ教育、主権者教育の充実を図る。 ・地域の様々な施設や産業との協働を通して、社会に貢献できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会やPTAとの協働的な活動や、身近な教育資源を有効活用する活動の充実を図る。 ・地域等と協働して、社会の一員として主体的に大人等と関わる体験の充実を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動についての情報発信を積極的に行い、本校の魅力の発信に努める。 ・事故・不祥事を根絶し、信頼される学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信等、ICTの利活用を通して、適切に学校をPRする。 ・不断の研修体制を整え、不祥事防止に努めるとともに、風通しの良い職場環境をつくる。